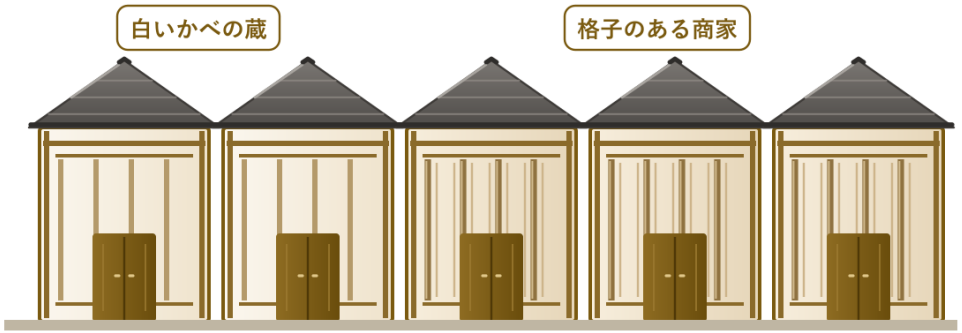
古い町並みを守り生かす地域

古い町並みを守りながら、どのように暮らしや観光に生かしているか

架空の「みなと町」の町並み



電線を地下にうめ、道を石だたみにした

町並みのよさと課題

よさ

江戸時代に港町として
栄えたころの建物が残る
町の歴史を伝える
観光の魅力になる

課題

建物が古くなり、
修理にお金がかかる
住む人が減り、
空き家がふえる

協力して守り、生かす取り組み

住民

保存会をつくり、
町並みの手入れや
案内をする

町

建物の高さや色の
きまりをつくる
修理にお金を出す

県・国

町並みを保存する
地区に選び、
修理を手助けする

店・会社

空き家を店や宿に
生かす
特産品をつくる

結果：観光客がふえ、町に活気がもどる。一方で、車やごみの問題、住む人の暮らしとの両立が新しい課題になる。

みなと町は架空の町。取り組みの組み合わせは地域によって違う。